

電気主任技術者の皆様へ

感電事故防止への注意喚起

8月以降九州管内で感電(アークによる火傷を含む)による死傷事故が多発しており、すでに2名の方が亡くなっています。被災者は電気工事業者、建設工事業者、工場の従業員、学生と様々です。

電気主任技術者の皆様におかれましては、電気事故から社員の生命を守るためにも保安の確保に万全を期すと共に、電気設備以外の工事にも注意を払って下さい。感電事故の中には、電気の危険性についての認識不足により発生したものもあるので、社員に対する教育も重要です。

また、建設業者の方は電線の近くで作業をすることが多いので、事前に状況を十分確認し、危険が少しでもあれば電力会社にご相談し危険性を取り除いて下さい。

平成22年度 感電等による死傷事故(九州管内)

平成23年3月15日現在

番号	月日	発生場所	死傷者数	事故内容
1	8月6日 (金)	福岡県 福岡市 博多区	負傷者1名	キュービクル内に保管しているPCB機器を処分する際に、被災者(総務部次長)と連絡責任者の2人が事前にPCB機器の保管状況を確認しようとした。被災者が、PCB機器を保管しているステンレス製箱をずらしたときに、誤って高圧部に触れ感電した。【原因:被害者の過失】
2	8月8日 (日)	福岡県 北九州市 若松区	負傷者1名	分岐リアクトルの故障が発生したため機器を取り替えた後、電圧(22kV)を印加した。工事終了後リアクトルを柵で囲わなくてはならなかったが、被災者は柵を工事前の状態にするのを怠ったまま通電状況を確認するため、本体表面のネオンランプに近づきすぎて感電した。【原因:作業準備不良】
3	8月18日 (水)	佐賀県 神崎市	負傷者1名 (公衆)	作業員が家屋の外壁塗装に伴う足場解体作業を行っていた。屋根上の作業員が解体した足場の金属管を地上作業員に渡そうとした時に、家屋上の高圧架空配電線(屋根上高3m、地上高9.5m)に金属管を接触させ感電した。【原因:被害者の過失】
4	10月12日 (火)	長崎県 長崎市	死亡者1名 (公衆)	小学生が送電線の鉄塔に昇り、送電線(66kV)に接触し感電、鉄塔から墜落した。被災者は救急車で搬送され、入院、加療したが、10月29日死亡した。(死亡原因:脳挫傷)【原因:被害者の過失】
5	10月14日 (木)	大分県 大分市	負傷者1名 (公衆)	作業員3名が家屋の新築に伴う基礎工事のコンクリート型枠に生コンを流し込む作業をしていた。クレーンで生コンを入れた容器(コンクリートホッパー)を吊り上げて旋回したところ、クレーンのワイヤーが隣接する配電線に接触し、容器を持っていた作業員1名が感電した。被災者は救急車で搬送され、電撃熱傷Ⅲ度(右足親指)と診断された。【原因:被害者の過失】
6	10月26日 (火)	鹿児島県 阿久根市	負傷者1名	電力会社の委託社員は複数の店舗が入居しているテナントビル(一般用電気工作物)で、電気料金の支払が遅延している店舗の送電を停止する作業をしていた。被災者である委託社員は電力量計の2次側の配線(200V)を外してテーピングしていた際に、電力量計よりアークが発生し火傷を負った。【原因:作業方法不良】
7	10月28日 (木)	長崎県 長崎市	負傷者1名 (公衆)	作業員3名が家屋の外壁塗装に伴う足場組み立てをしていた。被災者は屋根上で足場金具の取付けを完了し、身体を反転させた際に直近(足場金具から離隔10cm)を通過していた高圧線に左腕を接触させ感電負傷した。被災者は病院で応急処置を受けたが、翌日精密検査のため検査入院した。【原因:被害者の過失】
8	11月5日 (火)	長崎県 長崎市	死亡者1名	被災者の所属班4名は自班の作業が予定より早く終了したので、配電線の縁廻しの作業班に合流した。現場の総括班長は合流した被災者に、高所作業車を電柱のそばに移動するよう指示。現場を離れた総括班長は、その後被災者と連絡を取ろうとしたが被災者から応答がなかった。そのため現場に戻ったところ、高所作業車のバケットが上空で停止しており、バケット内で被災者が意識がない状態で倒れていた。救急車で搬送したが、病院で死亡が確認された。【原因:作業準備不良】
9	11月17日 (水)	熊本県 熊本市	負傷者1名	大学の高電圧実験室内において、工学実験中の学生が高電圧電源装置に接触し感電した。被災者は感電直後に意識を失ったが、別の男子学生から心臓マッサージを受け意識を取り戻した。救急車で搬送され、経過観察のため入院した。【原因:作業準備不良、作業方法不良】
10	12月7日 (火)	福岡県 苅田町	負傷者2名	トンネル工事現場でクラッシャーを移動させる動力を確保するために、被災者は現場の職長から分電盤の接続をするよう指示を受けた。電気の知識のなかった被災者はブレーカーをOFFにしたが一次側に接続しようとして短絡し、アークにより一緒に作業をしていたもう一人と共に火傷を負った。【原因:作業方法不良】
11	3月6日 (日)	福岡県 朝倉市	負傷者1名	PASの取替工事が終了し、PASを投入した。その後、相回転を確認しようと補機のスイッチを投入したが動かなかったため、被害者は操作電源が投入されていないと思い、キュービクル内のスイッチを入れようとしてLBSIに手首が触れ感電した。【原因:調査中】